

「現代 TOKYO 怖話」

『美しくなる鏡の魔法』

▼童話スタイル

▼エステ・美容医療の悪質商法

城に住む王妃は、魔法の鏡に話しかけるのが毎朝の日課でした。

「鏡よ、世界でいちばん美しいのは誰？」

「もちろん、お妃さまです」

王妃はこの言葉を聞くたびに笑顔になりました。

しかし、ある時…。

「鏡よ、世界で一番美しいのは誰？」

「残念ながら、白雪姫です」

「ナヌッ?!」

王妃は、怒り狂いました。

「白雪姫は日に日に美しくなっているのに、あなたは美しくなる努力をしていません。もっと自分を磨いてはいかがですか？」

「どうしろと？」

「魔法で、鏡に映るあなたをより美しくしてみせましょう」

「鏡の中だけじゃダメ！本当に美しくならなくちゃ！」

「鏡の中のあなたを美しくすることで、あなたの自信も蘇り、実物もより美しくなります。この方法は世界的に認められ、ハリウッドのセレブたちも実践しているそうです」

鏡の巧みな言葉に、王妃はその気になりました。

「この魔法は、毎月お金がかかりますが、今なら特別に最初の1ヶ月は無料でお試しいただけます。まずはクレジットカードの番号を教えてください」

「無料なのになぜカードを？」

「利用者登録のためです。成果が出なければ解約すればいいのです」

王妃はカード番号を伝え、魔法を試してみることにしました。

すると次の日……………。